

松戸市^{とじょう}戸定歴史館 展示予定 令和7年度

〒271-0092 松戸市松戸714-1 Tel047-362-2050

通常展Ⅱ（前年度から継続）

「暦と調度― 春から夏の戸定邸」

会期 令和7年3月20日（木・祝）～6月6日（金）
【途中、一部資料の展示替えを行いながら実施します】

戸定歴史館が所蔵する数千点の歴史資料のなかから、春から夏にかけての調度品を選んで展示します。展覧会が始まる3月下旬のサクラの開花シーズンから、風薫る5月下旬まで、戸定が丘の自然とあわせて季節を感じられる展覧会です。

連携特別展

「まつど×とくがわ
― 昭武・武定の生きた明治・大正・昭和」

会期 令和7年7月12日（土）～8月31日（日）

水戸徳川家11代当主の徳川昭武は、隠居後、松戸の戸定が丘に私邸（戸定邸）を建設し、明治17年（1884）に移り住みます。昭武・武定（昭武2男、松戸徳川家初代当主）をはじめとする戸定邸の人びとは、周辺地域と関わりながら、新しい環境での生活を営みました。

本展では、戸定歴史館・松戸市立博物館の2館が連携し、それぞれの所蔵資料と視点で、戸定邸を取り巻く松戸市域の明治・大正・昭和を見つめ直します。小学生を中心に、子どもから大人まで「まつど」に親しんでいただける展覧会です。また、スタンプラリーや絵本の読み聞かせなどの関連イベントも予定しています。

通常展Ⅰ

「万博・博 ―1867 パリから、はじまる―」

会期 令和7年10月4日（土）～令和8年1月12日（月・祝）

徳川昭武が日本の代表として参加した1867年パリ万国博覧会は、日本の国際デビューのきっかけとなりました。昭武と共に渡欧した渋沢栄一ら万博経験者は、明治維新後の近代日本を牽引する役割を果たしました。今回の展覧会では、昭武と、彼の教育責任者としてパリ万博に随行し、後に美術・博覧会行政の中心となった山高信離の視点から、1867年から1900年までの10回におよぶ万博を紹介します。

通常展Ⅱ

「季節の祝いー 雛から武者へ」【仮称】

会期 令和8年2月14日(土)～5月10日(日)

戸定歴史館には、雛道具の一部など、松戸徳川家ゆかりの調度品が所蔵されています。これらの調度品の多くは、日用品として使用され、あるいは季節の行事に合わせて飾り付けられました。本展では、会期中の上巳の節句や端午の節句にあわせ、松戸徳川家ゆかりの調度品類を展示します。